

令和8年2月21日

2026
Vol.59

さくらタイムス

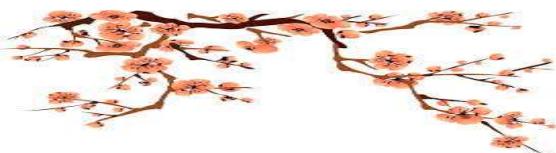
発行者:伊南桜木園

長野県駒ヶ根市中沢 2512

TEL 0265-83-7531 FAX 0265-96-7150

Email: sakuragi@cek.ne.jp

野沢菜漬をいただきました



第62回駒ヶ根市社会福祉大会

2月15日(日)午後1時30分から赤穂公民館で「第62回駒ヶ根市社会福祉大会」が社会福祉法人駒ヶ根市社会福祉協議会の主催で開催されました。

こまくさ園、信州まめ匠、青年海外協力協会、アンサンブル駒ヶ根、わーく宮田、たんぽぽの家、伊南桜木園の7事業所が自主製品などを販売しました。また、宮城県女川町の特産品の販売コーナーが設けられ、人気を集めていました。

大会宣言の後、ミュージカルサークル「煌」による「修繕屋ソーグ」の公演が行われました。

参加した木下(恵)さんは「たくさんお客様が来て、たくさん商品を買ってもらい嬉しかったです」と話していました。

2月4日(水)午前10時15分、有限会社ばばな農園(伊那市西春近)の白鳥さんと長野県セルプセンター協議会農福連携促進コーディネーターの酒井さんが新年のごあいさつのため来園されました。

この日、ばばな農園様で収穫された野沢菜を使用した貴重な「野沢菜漬」をいただき、利用者さんも職員も大喜び…。

利用者さんを代表して、青木さんが野沢菜漬を受け取りました。受け取った青木さんは「収穫した野沢菜が野沢菜漬けになって嬉しいです。ご飯と食べたら、とても美味しい」と話していました。

ばばな農園特製の野沢菜漬は、長野県に伝わる昔ながらの漬け方で漬けられた乳酸菌が生きている大変美味しい漬け物でした。

白鳥様は「おかげさまで美味しい野沢菜漬けができました。皆さんでお早めにお召し上がりください。」と話していました。



海外協力隊がやってきた

2月6日(金)と13日(金)午前9時すぎから、駒ヶ根青年海外協力隊訓練所の訓練生4名が所外活動のため来園しました。古谷拓斗さん(秋田県出身/派遣国スリランカ)長谷川鈴花さん(東京都出身/派遣国ベリーズ)土井可蓮さん(ホンジュラス出身/派遣国エルサルバドル)岡部真由美さん(神奈川県出身/派遣国カメリーン)。

野溝農園様のハウスで片付け作業を協力隊の皆さんと一緒に行った篠原さんは「楽しく作業ができたよ」。また、小田原(智)さんは「協力隊が来てくれるのを本当に楽しみにしていました。色々と話をしながら作業ができたよかったです」と話していました。

2日間の実習を終えた協力隊の古谷さんは「最初緊張しましたが、早く溶け込むことができてよかったです。皆さん、人が好きだと思いました」。土井さんは「ゴマの農家さんでの作業は初めてで、とても興味深かったです。利用者の皆さんのが元気で驚きました」。

また、長谷川さんは「色々と大変な作業があるのだと思いました。不安もありましたが、利用者の皆さんから話しかけてくれて嬉しかったです」。岡部さんは「農家さんでは野菜などを育てるだけではなく、裏舞台で大変な作業があるのだと思いました。笑顔を見せてくれる方が多くて嬉しかったです」と話していました。



- ・2月15日(日)第62回駒ヶ根市社会福祉大会
- ・2月18日(水)民生児童委員定例会販売会(駒ヶ根市役所)
- ・2月19日(木)伊那中央病院販売会
- ・2月20日(金)日発資源回収
- ・2月25日(水)「月刊かみいな」ポスティング
- ・3月2日(月)資源回収
- ・3月12日(木)昼食会(オニオinz)
- ・3月16日(月)福祉を考える企業の会とボランティア団体との交流会販売会(アルバ)
- ・3月16日(月)年度末慰労昼食会
- ・3月19日(木)伊那中央病院販売会
- ・3月25日(水)「月刊かみいな」ポスティング
- ・アルミ缶などの資源回収にご協力をお願いします。

編集後記

2026年がスタートして1ヶ月が過ぎ、立春を迎えましたが、立春とは名ばかりでまだ寒い日が続いています。さて、2月12日(木)、ウェザーニュースは「第3回桜開花予想」を発表しました。それによると、開花トップは東京の3月21日で、高遠城址公園は4月6日。全国的に休眠打破が進んで、関東甲信では平年並みかやや早まるようです。

いよいよ遠くから春の足音が聞こえてきそうです
が、まだまだ寒暖差の激しい時期ですので
体調の管理には十分気をつけてお過ごし
ください(N)

